

同窓生からの手紙

三木市出身。昭和61(1986)年、学校教育学部幼児教育コースを卒業後、明石市立高丘中学校を振り出しに中学校国語科教諭として勤務。明石市内の小学校教頭を経て、平成26(2014)年度から初任校で現職。



やまだ さちこ
山田祥千子さん
明石市立高丘中学校教頭

兵教大での経験が今の私の礎に

あ

れから30年。私は1期生です。何もない山中に大学が悠々と立っていました。志を同じくした200人が集まっていました。誰もがアクティブでした。学生組織、クラブ活動、学祭等々、出会って数カ月の者が、話し合い、考えをシェアし、知恵を出し合いPDCAを繰り返して、形にしていきました。その達成感・充実感は次のステップへのエネルギーとなりました。このルーティンワークは今も私の中に生きています。また、いろいろな先生方の教官室を訪れ、直接お話を伺う機会もたくさんありました。私の情報収集力とコミュニケーション力はそこで培われました。兵教



「きれいな学校」が本校の伝統の一つです

大だからこそ得られた経験により、21世紀型学力、キー・コンピテンシーの礎が築かれていたと実感しています。
現任校では「小中一貫教育」の研究に取り組んでいます。学生時代、幼稚園、小学校、中学校、全ての校種の実習がありました。モデルを目の当たりにしながら過ごしていました。施設分離型で進進しますが、あの時を思い起こしてこの課題に挑戦していると思います。
今年も、兵教大から実習生がやって来ます。彼女たちがどんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。なお、本校の情報はHPでご覧いただけます。

LETTERS FROM OB & OG

和歌山県出身。平成26(2014)年、特別支援教育専攻障害科学コースを修了。現任校では、教員の授業力向上に向けた取り組み(授業コンサルテーション)を担当。地域で子育て支援の研修団体を立ち上げ、代表を務める。



はら やすゆき
原 康行さん
和歌山県立はまゆう支援学校教諭

大学院での学びが必ず実践につながる!



→授業ビデオを見ながら指導方法を考えられています

大 学院では、応用行動分析学に基づく学習心理や支援方法について研究を進めました。その学びを生かし、現任校では先生方を支援する「授業コンサルテーション」の仕事を担当しています。放課後、授業担当者と撮影した授業ビデオを見ながら課題を整理し、より良い指導方法を一緒に考えます。先生方たちのこれまで工夫や努力に共感することで、次第に先生方たちは自ら、授業課題について語り始めてくれます。学習理論に基づいた解決案を

先生方自身が導き出せるように支援しています。地域では、保育士さんや幼稚園・小学校の先生を対象に、子どもたちの困った行動を支援する研修団体を立ち上げました。連続講座や相談事業に、多くの先生方が参加してくださっています。
大学院での研究が、学校や地域を支える取り組みにつながっていることを実感します。また、僕たちは研究と実践をつなぐという大きな役割も担っていると感じています。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

第36回

大学院同窓会総会・研究大会【大阪大会】の開催

大学院同窓会は各都道府県支部の持ち回りとしており、今年は大阪府で開催します。詳細については「Hyokyo-net」をご覧ください。

- ◎開催日 8月6日④・7日⑤
- ◎会場 ホテル アウィーナ大阪(公立学校共済組合大阪宿泊所)(大阪市)
- ◎内容 修了生の教育実践研究活動等に係る表彰、教育実践発表
講師:福田光完学長、田中亨胤名誉教授、桂吉弥さん(落語家)ほか
巡検:大阪歴史博物館、適塾、愛珠幼稚園など